

第1回 三村小・玉穂南小学校区 中央市立学校再編協議会 議事録

1 日 時 令和7年8月8日(金) 19:00~20:30

2 場 所 中央市立玉穂総合会館

3 出席者

【委 員】 出席者 16名 (欠席者 3名)
【教育長】 石田秀博
【事務局】 教育総務課 3名

1. 開会
2. 委嘱状の交付
3. 教育長あいさつ
4. 会長・副会長の選出
5. 議事
 - (1)協議会の位置づけ
 - (2)協議する議題について

会長

質問等あるか。

A 委員

学校の再編においては、耐震性や耐火性といった最新の設備が非常に重要なと思うが、協議する中で欠けているのが通学路の整備だ。学校が統合するにあたって、子供たちがいろんなところから登校する。通学路や歩道橋が整備されているかどうかは非常に重要なとなる。

B 委員

以前の会議で議題になったと思うが、統合となれば、通学時間が長くなる子供がいる。それにあたって、スクールバスが議題に上がったが、スクールバスを導入する目安などはあるのか。遠いからスクールバスを導入するだけが解決策ではないと思う。予算面や子供の健康面なども含めて、判断材料がないので資料をいただきたい。

C 委員

田富小学校が長寿命化改修工事を実施しており、田富北小学校、豊富小学校が新築工事を実施している。田富小学校の、長寿命化改修は実施したが、何か物足りないことがあるのか。新校舎になった田富北小学校などは使いやすいとか、そういう感想を聞きたい。

事務局

補足説明として、田富小学校の長寿命化改修工事は、工事終了が 10 月末になるが、本格的に校舎を使い始めるのは令和 8 年 1 月の 3 学期からになる。

会長

田富小学校は実際の使用感が聞けないが、施設見学等を実施できるのではないか。

A 委員

子供たちの減少率はどのようにになっているのか。人口増に伴い、玉穂南小学校は分離新設となった。分離新設から約 40 年経って、時代の流れで人口減少となり統合の検討をこの協議会で行っている。しかし、将来玉穂地区の人口が増えて田富地区が減ってくれば、この協議会が無駄だとは言わないが、同じような現象がまた起きるという懸念がある。建物をどんどん造るということは、負債がどんどん重なるので、それをどのように維持管理するのか。将来的に人口がどのようになるのか、減少率も加味しながら学校再編に向けた取り組みの一つの目安になるのではないか。

事務局

<<[昨年度の地域検討会議で示した資料提示し再度説明](#)>>

URL:https://www.city.chuo.yamanashi.jp/material/files/group/10/02/jidousuu_suii_graph.pdf

次回令和 7 年度の実数を入れた資料を提出するでよろしいか。

A 委員

よい。

会長

教育委員会が統合する、しないは決定できない。教育委員会に協議の結果を報告するが、決定するのは市当局となる。長寿命化改修も含めて財政面のこともあると思う。どういうまちづくりをしていくのかなど、市の考えがあるだろうし、その辺も踏まえた中で、統合をしていかなければならない。難しい問題があると思うが、ぜひこの協議会の報告として上げたいと思う。

D 委員

去年の玉穂南小学校の協議でも、人口については希望的な観測と悲観的な観測で随分紛糾したのを覚えている。段々高齢化し、出生率も最低になってきているので、あまり人口増加を見込める状況ではないと思う。A 委員がおっしゃったように、そういう根拠というのは皆さんにお示しすることはすごく大事なことだと思う。

去年の玉穂南小学校の協議会で長寿命化改修を進めたいとおっしゃった方たちが今回の協議会委員に入ってないので、その方たちの意見を踏まえて申し上げる。

私としては、三村小学校との合併は悪いことではないと考えている。しかし、ここに書かれているような課題があり、通学時間が 30 分だったら歩かせるのか、日なたしかないうな道を歩かなきゃいけない子供たちがいても、そこは 30 分だから歩かせるのかというようなことも議論になると思う。

玉穂南小学校は横断歩道がないので遠くまで行って道路を渡らなければならない。子供の安全を考えたら、新しい校舎で過ごすよりも命を守る方が大事とおっしゃった方

もいる。だからそういう心配を払拭できるような話し合いが、この会議でできたらいいと思う。

三村小学校が古くてもう駄目だから変えようではなくて、やはり子供たちがどのような学校生活を過ごすのがいいのか。長寿命化改修の学校にどのようないいところがあるのか、新しい学校はどのようないいところがあるのか、逆にデメリットもあるはずなので、報告するまでに払拭できるような意見を出し合いたいと考えている。

E 委員

三村小学校の校舎が老朽化しているのは確かなこと。

学校は地域コミュニティの中核としての役割があると思う。玉穂地区の人口増加に伴い、もともと1校だった小学校が2校に分かれた。2校になってから30年以上が経ち、そこにはすでにコミュニティが形成されているわけで、それをなくすとなれば納得しがたい思いがあるのも理解できる。ただ、中央市に合併した今、中央市民という視点で捉えれば、中央市のコミュニティの中でどうしていくのか。その中で玉穂という単位で考えて、皆様の地域にある学校を地域コミュニティの学校として捉えることができれば問題ないのではないか。

市としては、財政面のことは大きいと思う。地域の人達にとっては場所の問題が一番だと思う。大筋で統合となつたときに、場所をどこにするかで反対する人は出てくると思う。だから場所が決まらないと議論にならないが、そうは言ってもどこに建ててもいい訳ではない。現状あるところに建て直すのか、それとも土地を買収してやるのか。統合と長寿命化改修のそれぞれのメリット、デメリットを出していただければいいと思う。

学校の規模は小さくても大きくても同じようにメリット、デメリットがある。以前は児童数37名の学校にいたが、それなりのよさがある。すごく地域密着型で、子供たちも地域に育てられているような感じがする。ただ人数が少ないので、人との関わりが少ない。育っていくときに、どうしても人間関係が狭くなる。あとは行事等できることが限られてくる。

元々玉穂地区は1校だったものを分けて2校にしたので変なしがらみがなく、『おらの学校』というような住民意識が残っているわけではないと思う。だから、統合がやりやすい面はあると思う。

会長

先ほど場所の話が出ましたが、具体的な候補地を挙げることはできるのか。

事務局

統合新設の場合、ここに建てるという場所は事務局から提示することはできない。協議会としては、建設場所はどのあたりがいいのかという方向性や意見を出していただくことになると思う。全国の統合された学校を見ると、新しく土地を買って新設しているところもあれば、既存の学校を改修しているところもある。国の調査データがあるので出せる。全国の統計の情報等をまとめて次回出させていただく。

あとは、例えばここに建築したら、先ほどの話であれば、登下校の道はこういうルートが考えられて、現状ここは歩道がないとか、そういう協議はできると思う。

会長

具体的に建設場所が出ないと議論ができないのではないか。

F 委員

人口が減少し子供の数が少なくなっている中で 30 年後 40 年後のことを考えると、学校の位置は小学校と中学校が協力していけるような近接地がよい。そうすることによって、皆さんのが心配されている通学路の整備などもしやすいのではないか。

昨年の三村小学校の協議では、単クラスでは教育上問題があるとおっしゃる方が多かった。なるべく単クラスではなく複数クラスで 6 年間行くように、整えてあげることが子供の成長にとっていいことではないか。5 年、10 年先ではなく 30 年、40 年先のことを見て、みんなで考えていくことが大事だと思う。

会長

昔、三村小学校の場所は、この玉穂総合会館の場所であった。

F 委員

三村小学校は中学校の跡地に建てた学校なのでグラウンドが大きいと聞いたことがある。

事務局

<<[学校ホームページ学校の沿革を提示](#)>>

URL: <https://sites.google.com/giga.city-chuo.ed.jp/mimura-esl/>学校の沿革

まず、峡中中学校と山城中学校がありまして、その後統合して城南中学校になりました。峡中中学校は廃校になって、改めて旧峡中中学校の跡地に新校舎を落成したということです。それが今の三村小学校となります。

A 委員

子供たちは教育を受ける義務、権利がある。学校が統合すれば通う子供が増えるが、そこに実は落とし穴があると思う。例えば、ある子供がどんどん伸び盛りで伸びていく、ところがもう一方であまり中身を理解していない子どもがいる。そうしたときに同じように上がっていくのは難しい。大規模になった時、子供たちの間の学力差が大きくなつていく懸念がある。だからこそ、そういうメリット、デメリットをもう 1 回調べて、次の会議に出していただきたい。

その中で一番大事なことは安全という環境の中で子供たちの教育をやっていくのが一番大事だと思う。将来に向けて少子化を見越し先手を打ってやってよかったといえることが答えではないか。統合して児童が増えた時のメリット、デメリットを考えながら、まずは安全、安心して子供たちが教育を受けられる雰囲気、それが一番大事だと思う。

E 委員

本市のメリットとデメリットなのでネットで調べるよりも、本市として統合・長寿命化に対してどのようなメリット、デメリットがあるのか考えた方がいい。

三村小学校としては、統合でいくのであれば、困るところを出していく。玉穂南小学校も統合されたらこういうところが困るという所を出して、そういう話し合いのほうが進むと思う。

市としては財政的なことや様々なことがあると思う。校舎の建設費、長寿命化改修の仮設校舎建設費、長寿命化改修費 2 校分、新設 1 校分の建設費などを考えて、市の方向性を出す。しかも子供が減っていく方向で、もう統合した方がいいと言うのであれば、

統合の方向で話をした方がいいと思う。話がまとまらないのではないか。

B 委員

今の発言はよくわかる。

玉穂南小学校の会議で教育長が言われたのは、お金のこととかは協議会で考えることではなくて、中央市の現状と今後の子供たちのことを考えて、子供たちにその新しい未来とかを見せてあげようじゃないかという教育長の心意気を私はすごく感じて、私はそれに賛同したいと思った。

私の考えとしては、ここでお金のことを考え出したら何も進まないのではないか。お金のことは市や教育委員会の方に任せて、ここでは今私たちが見ている目の前にいる子供たち、もしくはこれから中央市に生まれてくる子供たちにどんな教育を与えられる環境を作つてあげたいのかという夢を語る場でもいいのではないか。そういう皆でこんな学校が中央市に出来たら人口増えるよねという結論を出して報告すればいいのではないか。

去年、玉穂南小学校の地域検討会議では意見集約ができず、賛否両論でここまでできている。統合しないでもいいという意見の方は、ここにはこられてないが、先ほど皆さんがおっしゃったようなことを玉穂南小学校の会議でも全く同じように言っていた。人が変わっただけで内容としては変わっていない。結論が出せるのだろうかと思う。

会長

私の中ではもう統合で考えています。そういう前向きな姿勢でやっていこうと思っている。

これは市の問題であるため、基本的に教育委員会が決定できるものではない。教育委員会に報告を行い、最終的には市当局が判断することになると認識している。この会議においては、なぜ統合が必要なのかを明確にし、その内容をもとに、統合後の学校の設置場所としてはこのあたりが望ましいといった意見を整理し、今後、必要な整備をお願いしますといった形で、意見を取りまとめて報告したいと思っている。

D 委員

この会議では、最終的に統合するかしないかを判断することになるが、統合を前提としたご意見がとても多いと思う。もちろんそういう方向に進めばいいなというふうに私も内心思っていないわけではない。それを踏まえて申し上げると、E 委員がおっしゃるように、その金額を出して欲しいっていうのも思う。それなら、新しい学校の規模をどうするのか、昨年の玉穂南小学校地域検討会議の時も、文科省の大々的なモデル事業として素晴らしいものを見せていただきましたけど、その通りに造つたとしたら、それは莫大な費用がかかる。

以前中央市ではオーストラリアへの語学留学事業があったが、議会の議員さんの中で、費用対効果に言及された方がいた。その時には、それは未来への投資でしょうという話をした。本当に子供たちが中央市に戻つてくるかどうかはわからないが、未来への投資をさせてくれないかという話をしてることはとても重要だと思う。

概算金額が事務局から提示されて、「これは長寿命化の方がずっと安い」となったからといって統合を諦めるのではなく、それでも子供たちのために、今の小学校区のコミュニティを今後中学校区のコミュニティのような1校ずつになって、地域の方たちと一緒にになりながらそのコミュニティを変えていくっていうようなところまで話ができるれば、もしかしたら議会も賛成をしてくれるかもしれない。「建設に金額がかかるが、その上で

「子供たちのためにはお願いしたい」というような提案がさせてもらえば、それはすごく有意義なことではないか。

E 委員

将来的に子供たちにとっては、新しい学校の方が魅力的。現校舎は使い勝手が悪い。今求められる個別最適な学びには十分なスペースが必要となる。また、多様な児童の居場所の確保など配慮も求められるため、新校舎の方が適していると感じる。一方で通学面の課題もあるため、今後の話し合いが必要だと思う。

G 委員

現在のように小学校が分かれてから 32 年が経過しており、もともとは 1 校だった背景がある。その間、それぞれ地域の方々の想いというものがあるので、統合や長寿命化改修に関する協議は、地域の方々が学校を支えるという共通の認識を再確認できるような場にすることが望ましいと思う。

玉穂南小校区と三村小校区で考え違いが生じるのではなく、地域の皆さんが各小学校を支えていこうという意識が共有される協議を期待したい。学校の今後を考えることは、結果としてまちづくりの魅力向上にもつながり、将来的に住んでみたいと思われる地域になるような方向性を目指したい。

また、子どもたちの将来については、地元に戻るかどうかは不確定だが、この地域で育った子どもたちが世界で活躍できるような教育環境を整えることは非常に有意義だと思う。

加えて、共働き世帯も多く、学童保育について苦労している方もいるので、今後校舎の位置の協議と併せて、学童についても協議が必要だと思う。

いずれにしても、地域にとっても、子どもたちの未来にとっても、建設的な議論が進むことを期待している。

F 委員

約 40 年前、三村小学校と玉穂南小学校を分けたときの会議録はないか。どのような意見が出て 2 つに分けたのかを調べる必要はないか。人口が減るということが分かっていたならば三村小学校は 1 つでもよかったかもしれないが、そこを 2 つに分けた理由を知りたい。

B 委員

当時は児童数が減ることは、分かっていなかったのではないか。

F 委員

昭和町の小学校が別れるか別れないかという時があり、先々を考えて別れなかつたと聞いたような気がする。

事務局

40 年前の資料を探してはみるがご期待に沿えない可能性の方が高いと思う。

会長

議事録を作ると思うが、第 2 回目の会議の前に議事録だけは先に送つもらうよう

に、事務局に頼んだ。見ていただいて、それでまた協議をさせていただきたいと思う。ではこれにて議事を終了したいと思う。

A 委員

追加で、昨年度実施したアンケートにどのような分布が載っているか次回の会議で知りたい。

事務局

昨年度の地域検討会議に出させていただいた資料については、ホームページで公表している。実際に行ったアンケートの内容、あとは集計結果の概要版を公表している。また、アンケート結果については議事録と同時に送付させていただくか次回会議で提示する。その前にぜひホームページからご一読いただければと思う。

A 委員

中央市のホームページのどこに載っているのか。

事務局

<<[市ホームページにて説明](#)>>

URL: https://www.city.chuo.yamanashi.jp/soshiki/kyouiku_soumu/gakkou_arikata/index.html

今回の会議についても、ホームページに改めて令和7年度の活動ということで公開する。今回行った会議の資料、議事録、ただ個人名がわからないようマスキングしたうえで議事録を公表する。もちろん議事録を事前送付させていただいて修正があれば、それを修正したものを載せさせていただく。

ここに基本的には今までの経緯をまとめてある。昨年度、開催した地域検討会議についてそれぞれ、資料を学校ごとにまとめてあるので、ご一読いただければと思う。

会長

おおよそ、2回目の会議はいつごろか。

事務局

たくさん資料の依頼があったのでまとめさせていただき、10月のうちには2回目を開きたいと考えている。

先ほど申し上げたとおり議事録案をまずは配布させていただく。また、次回会議の開催通知には、このような資料を会議資料として提示していきたいということも記させていただく予定である。

また何かありましたら教育総務課の担当まで連絡いただければと思う。

では、ただいまをもちまして第1回の学校再編協議会を終わらせていただく。

皆様長時間ありがとうございました。また次回よろしくお願いいいたします。